

黒田精工株式会社

(証券コード： 7726)

2024年3月期 決算説明会資料

【目次】

1. 会社概要、事業内容
2. 2024年3月期 連結決算概要
3. 2025年3月期 通期連結業績予想・配当予想

2024年6月10日

1. 会社概要、事業説明

社名	黒田精工株式会社
代表者	代表取締役社長 黒田浩史
本社	神奈川県川崎市幸区
創業	1925年
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
資本金	1,931百万円
従業員数	972名 (連結、パート・嘱託含む)
主要事業	駆動システム事業 金型システム事業 機工計測システム事業

沿革 ～ 90年以上に渡る精密の歴史と信頼 ～

創業期

- 1925 日本最初の專業ゲージメーカーとして創業
- 1935 ブロックゲージの製造販売を開始

技術基盤の確立

- 1946 精密プレス金型 製造販売開始
- 1953 平面研削盤 製造販売開始
- 1961 東京証券取引所に上場
- 1962 ボールねじ 製造販売開始

技術開発と新事業

- 1978 型内積層金型「FASTEC」 製造販売開始
- 1987 超精密鏡面加工機スーパーポリシャー 製造販売開始
- 1991 超精密表面形状測定装置ナノメトロ 製造販売開始

事業再編 Global化

- 2005 車載 HEV 用モータコア 量産開始
- 2008 金型内自動接着積層システム「Glue FASTEC」開発
- 2012 JENA TECグループを買収
- 2014 伊 Euro Group と業務提携、米テネシー州に合併会社
- 2016 Glue FASTECコア 量産車車載用モータへの採用
- 2019 かずさアカデミア工場新棟竣工 自動化ライン整備
- 2022 中国 無錫隆盛新能源科技有限公司と業務提携
- 2023 合併会社紅忠黒田ラミネーション(株)を設立

経営理念

精密技術を通じて世界の
産業高度化をサポートする



行動理念

常に新しいものに挑戦し
新しい価値を創造する



精密加工

精密測定

3つの事業の複合力で産業の高度化をサポート

駆動システム事業



研削ボールねじ
転造ボールねじ
BSアクチュエーター
サポートユニット



かずさアカデミア工場



旭工場

金型システム事業



精密積層プレス金型 (FASTEC)
Glue / Laser FASTECシステム
樹脂固着システム (MAGPREX)
モーターコア (車載用/家電用)



長野工場

機工・計測システム事業



工作機械 (平面研削盤、ポリッシングマシン)
要素機器 (ゲージ、ハイドロリックツール)
精密測定システム
ソリューション提案



富津工場

Jenaer Gewindetechnik GmbH (独)



無錫隆盛新能源科技有限公司 (中) 提携先



韓国黒田精工株式会社 (韓)



Eurotranciatura USA LLC (米) 合併会社



Euro MISI Laminations (中) 提携先



本社 (日本)



紅忠黒田ラミネーション(株) (日本)



EUROGROUP S.P.A. (伊) 提携先



平湖黒田精工有限公司 (中)

KURODA JENA TEC Inc. (米)



Eurotranciatura Mexico SA de CV (メキシコ) 提携先

【国内関連会社】
クロダイインターナショナル(株)
(株)ゲーシング
日本金型産業(株)



KURODA Precision Industries(M)
SDN BHD (マレーシア)

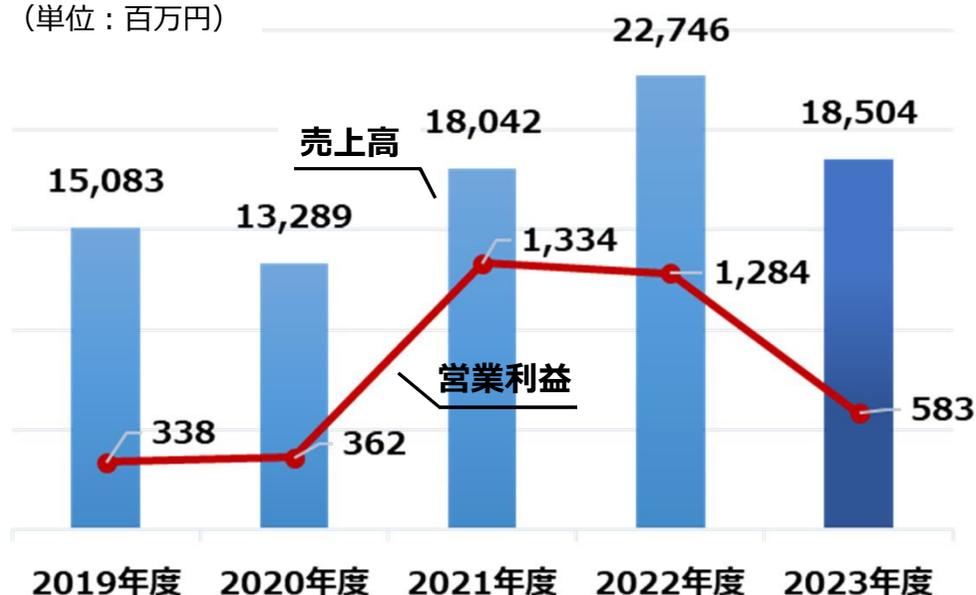
【国内販売ネットワーク】
本社営業部
名古屋支店、大阪支店、京都営業所、
太田営業所、西東京営業所、長野営業所

2. 2024年3月期 連結決算概要

2024年3月期 連結決算概要

(単位：百万円)	前年同期 (2023年3月期)	業績予想 (23年11月10日付)	2023年度 (2024年3月期)	増減 (前年同期比)	増減 (予想比)
受注高	21,958	-	17,265	△4,694	-
売上高	22,746	18,500	18,504	△4,242	+4
営業利益	1,284	450	583	△701	+133
経常利益	1,533	550	844	△689	+294
親会社株主に帰属する 当期純利益	906	350	498	△408	+148

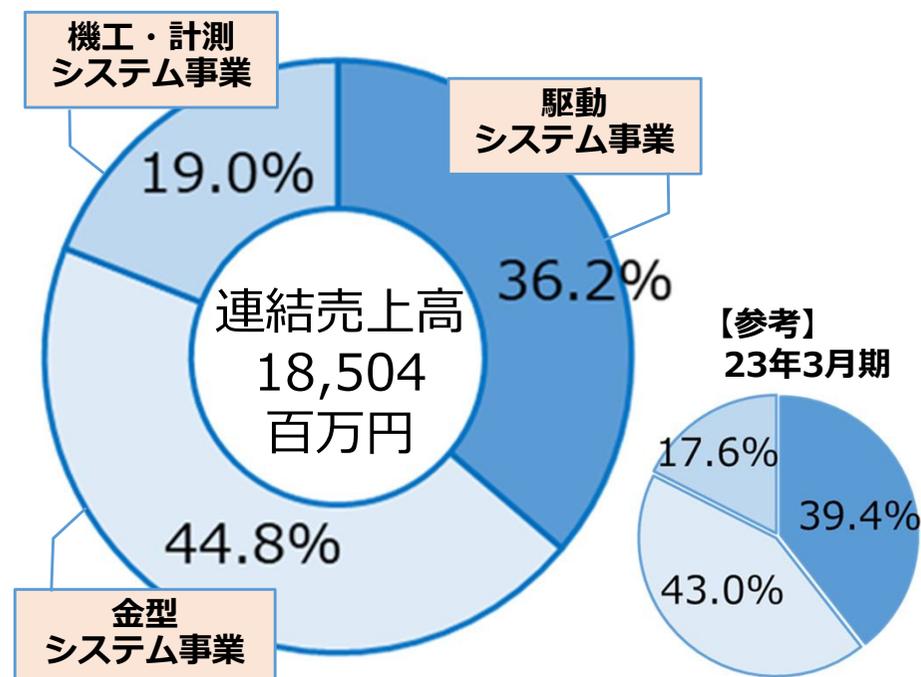
(単位：百万円)



- ◆ 半導体・液晶関連装置市場の低迷が長期化し、駆動システム製品の受注が減少。金型システム事業は車載用モーターコア向け金型の受注が堅調であった一方、プレス製品の大口販売先不振の影響を受けて受注減。機工・計測システム事業についても工作機械や減速機市場の低迷から低水準の受注に。
- ◆ 売上高は受注残に消化に努めたものの、受注減少の影響を受けて減収に。利益面では、売上高減少に加え、ドイツ子会社の業績低迷もあり大幅減益。
- ◆ ドイツ子会社の業績悪化で、のれん減損を計上するも、繰延税金資産の計上で利益面への影響は抑制。

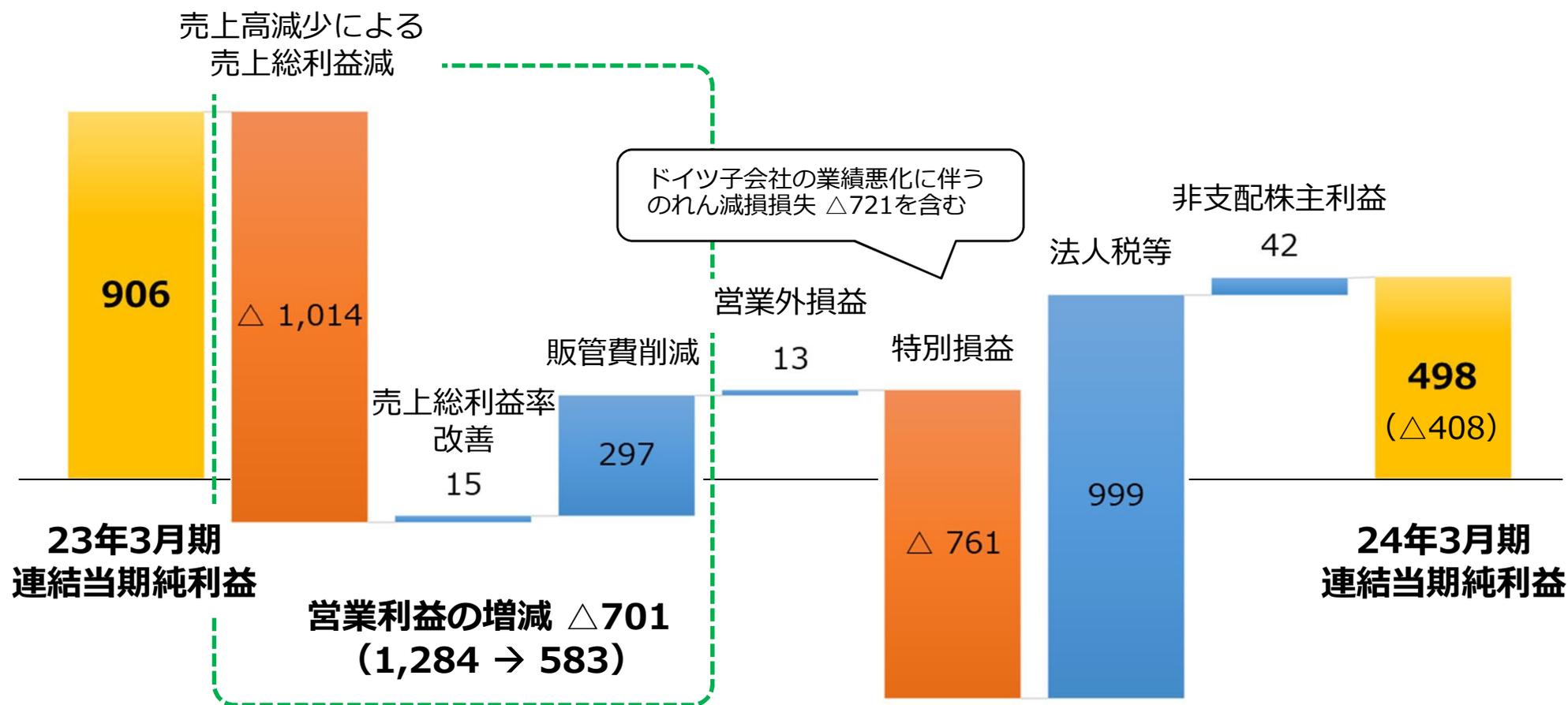
単位：百万円	受注高 (前年同期比増減)	売上高 (前年同期比増減)	営業損益 (前年同期比増減)
駆動システム事業	5,650 (△1,624)	6,711 (△2,254)	△91 (△1,121)
金型システム事業	8,178 (△2,466)	8,300 (△1,498)	765 (+398)
機工・計測システム事業	3,434 (△620)	3,527 (△471)	△54 (+27)

- ◆ 駆動：主要顧客の半導体・液晶関連装置向け市場の生産調整が長期化し、受注減少が継続。売上高は受注残を消化しつつも年間を通して回復には至らず。ドイツ子会社の移転に伴う業績低迷を受けて、通期では営業赤字に。
- ◆ 金型：車載用モーターコアは大口販売先の販売不振を受けて受注、売上高ともに減少。モーターコア向けの金型は成長基調を維持。利益面では、売上総利益率の改善、相対的に利益率が高い金型製品の比率上昇によって大幅増益に。
- ◆ 機工・計測：工作機械市場全体の低迷と、精密減速機の在庫調整の影響を受けて受注、売上高ともに減少。経費抑制の効果により単体では黒字転換を果たすも、自動車関連商品を手掛ける子会社の業績悪化で連結では赤字に。



(単位: 百万円)

前年同期比 連結当期純利益の変動要因



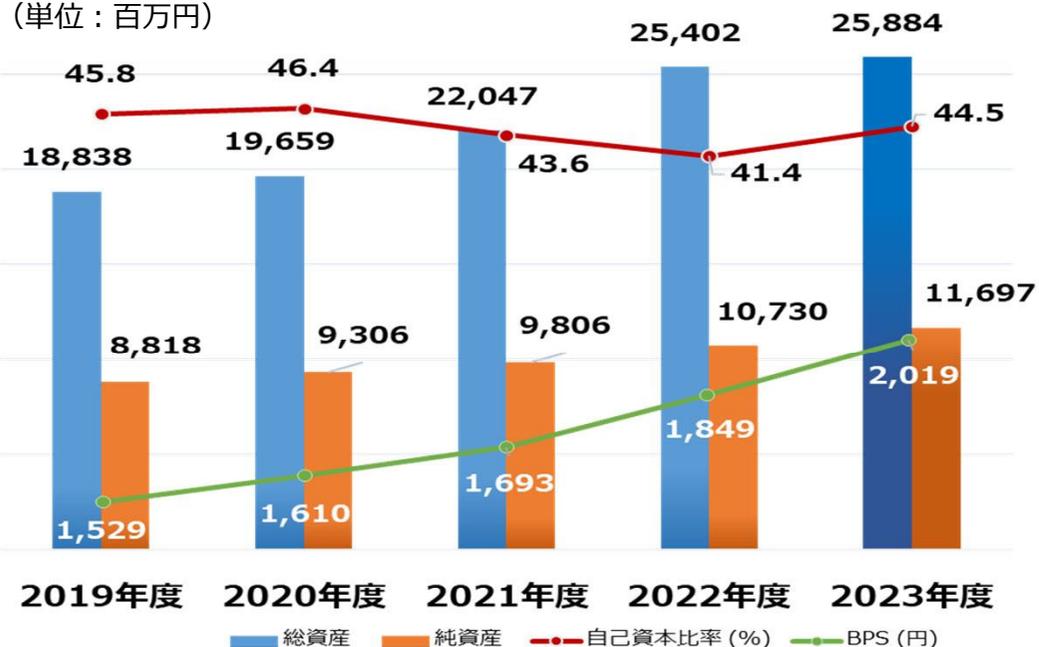
ドイツ子会社の業績悪化に伴うのれん減損損失 △721を含む

繰延税金資産の計上による法人税等調整額 (益) +726を含む

連結貸借対照表

	2022年度 (2023年3月期)	2023年度 (2024年3月期)	増減
総資産 (百万円)	25,402	25,884	+481
純資産 (百万円)	10,730	11,697	+967
負債合計額 (百万円)	14,672	14,187	△485
自己資本比率	41.4%	44.5%	+3.1%
1株あたり純資産 (BPS) (円)	1,849	2,019	+169

(単位：百万円)

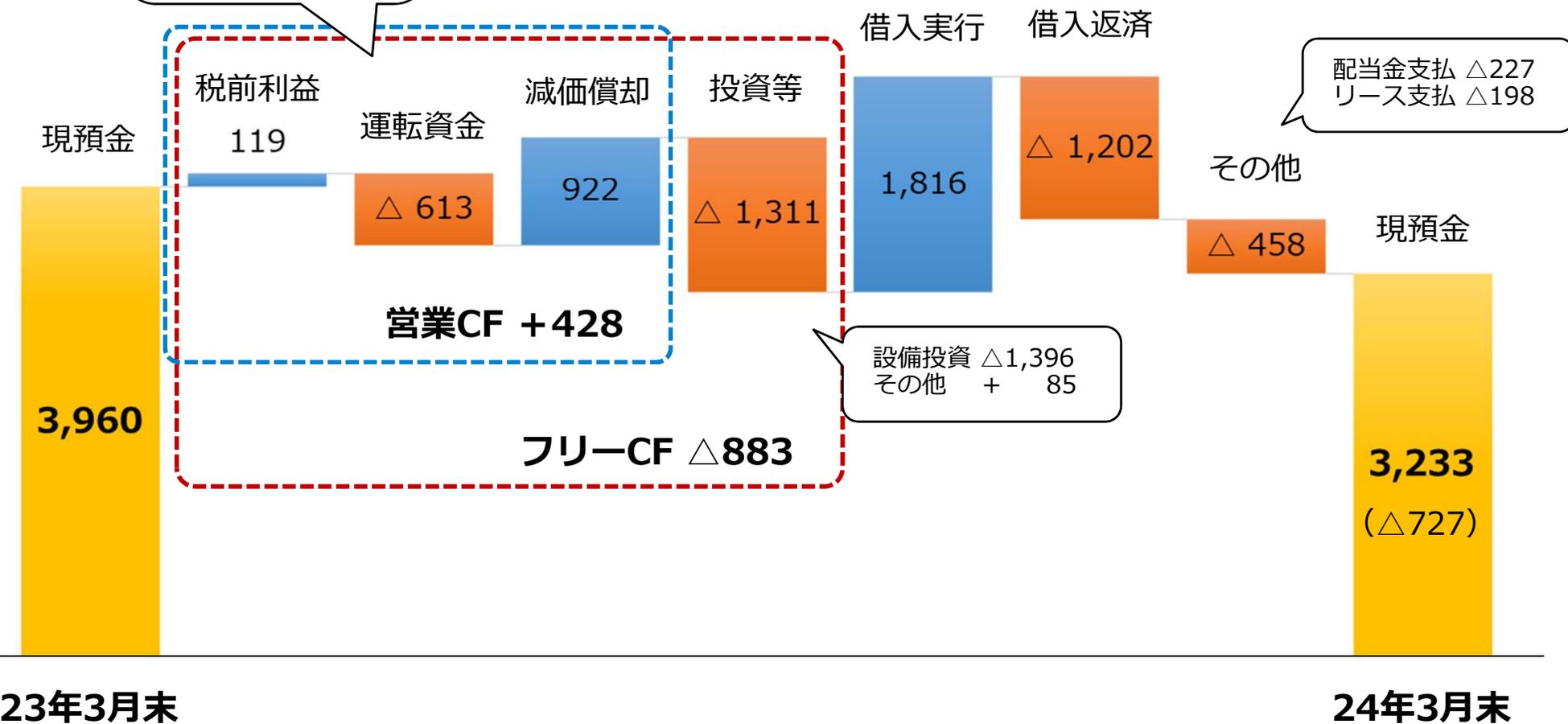


- ◆ 総資産：前年度末比 +481百万円の増加
 - 流動資産 △1,117百万円 (現預金、製品在庫等の減少)
 - 固定資産 +1,599百万円 (建物、投資有価証券等の増加)
- ◆ 純資産：前年度末比 +967百万円の増加
 - その他の包括利益累計額 + 701百万円
(その他有価証券評価差額金等の増加)
- ◆ 負債合計額：前年度末比 △485百万円の減少
 - 流動負債 △1,439百万円 (仕入債務等の減少等)
 - 固定負債 + 953百万円 (長期借入金、リース等の増加)
- ◆ 自己資本比率：44.5% 前年度末比 +3.1%

前年同期比 連結キャッシュフローの変動要因

(単位: 百万円)

売上債権	+	50
棚卸資産	+	152
仕入債務	△	1,512
税務支払	△	586
のれん減損	+	721
その他	+	562



配当金支払 △227
リース支払 △198

設備投資 △1,396
その他 + 85

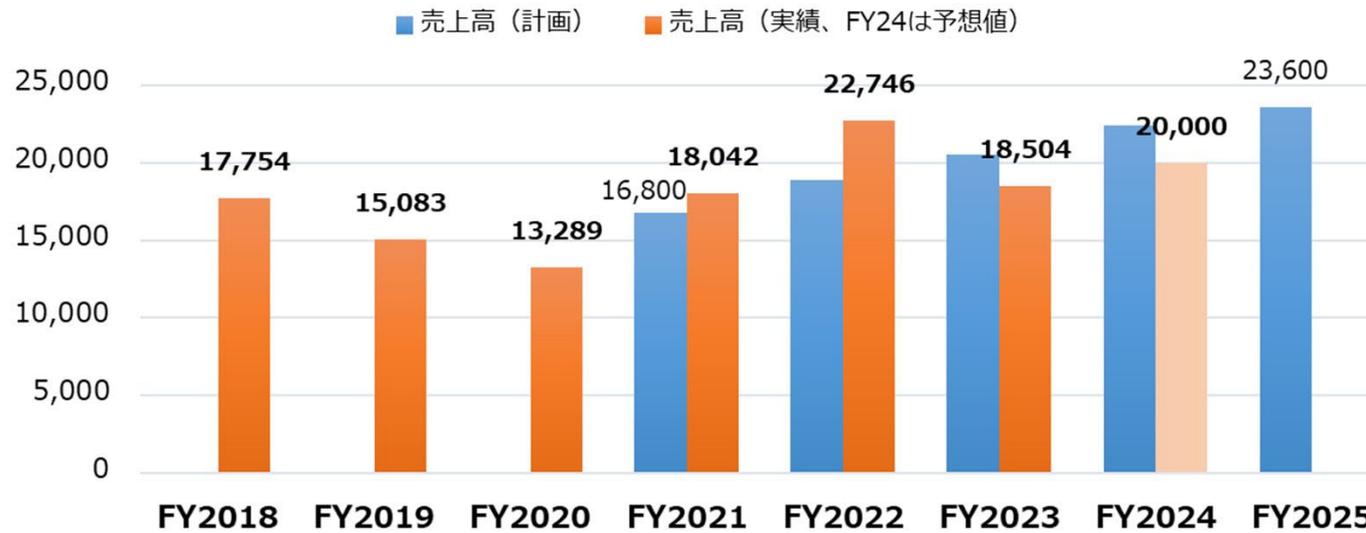
中期計画（Vision2025）の進捗状況 ①

Vision 2025		2024年3月期 連結実績	進捗状況
売上高	168億円～230億円	185億円	○
営業利益率	4%超～8%	3.1%	×
ROE	5%超～10%	4.5%	×
自己資本比率	45%以上	44.5%	×
配当性向	25%～35%	40.0% (配当35円/1株)	○
総投資額	計画期間（5年） 73億円程度の規模	2023年度迄の3年間 累積投資額 約44億円	○

中期計画 (Vision2025) の進捗状況 ②

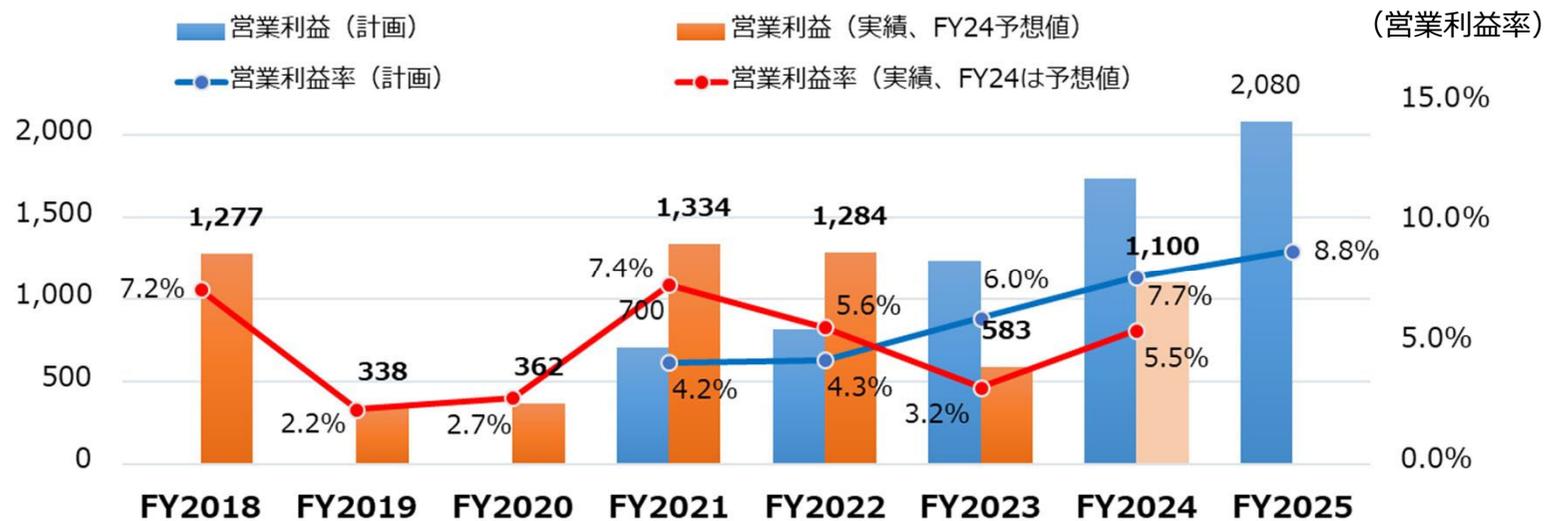
【売上高】

(単位：百万円)



【営業利益】

(単位：百万円)



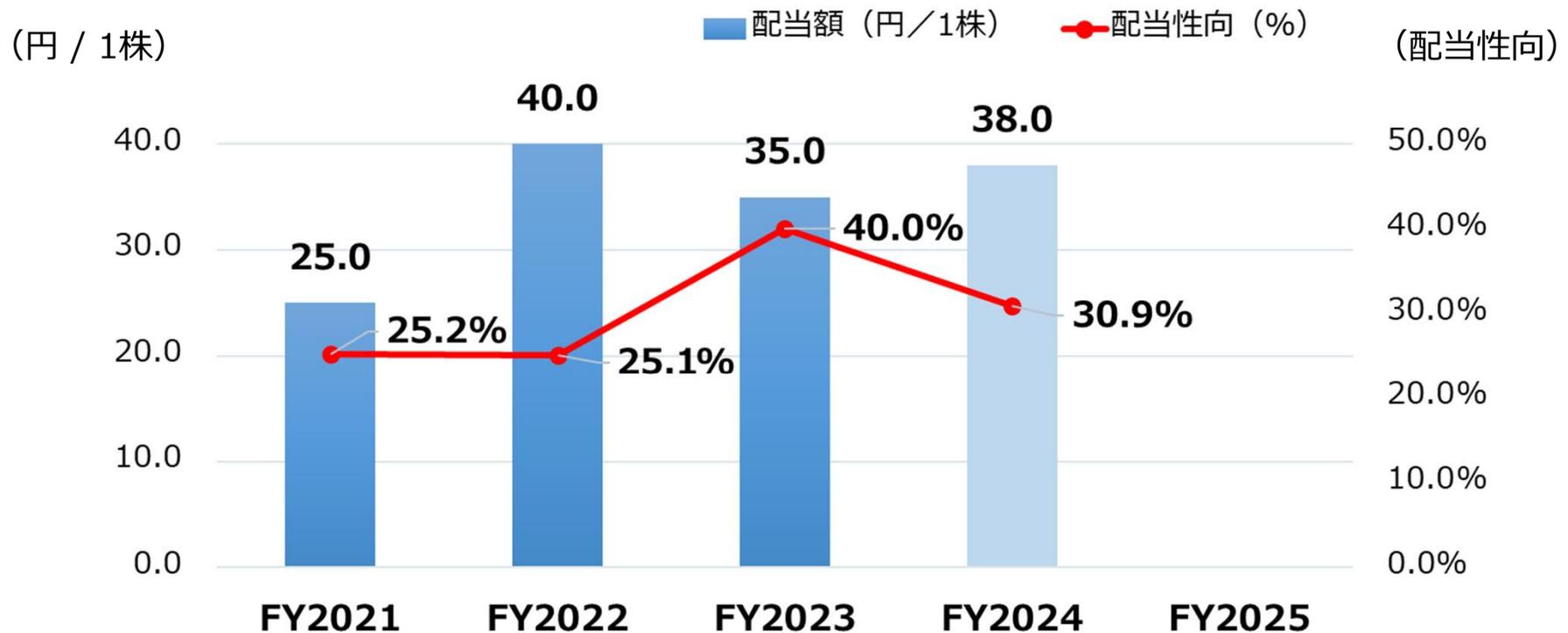
3. 2025年3月期 通期連結業績予想・配当予想

2025年3月期 通期連結業績予想

	2023年度 (2024年3月期)	2024年度 (2025年3月期)	前期比増減	前期比増減率
注：単位記載の無い項目は百万円単位				
売上高	18,504	20,000	+ 1,496	+ 8.1%
営業利益	583	1,100	+ 517	+ 88.6%
(営業利益率)	3.2%	5.5%	+ 2.3%	--
経常利益	844	1,050	+ 205	+ 24.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	498	700	+ 202	+ 40.4%

- ◆ 駆動システムは、半導体製造装置市場が夏以降の回復を見込むとともに、ドイツ子会社の業績改善により、増収増益を計画。金型システムは、特定顧客向けの車載用モーターコア製品の生産調整が見込まれるものの、車載用モーターコア向け金型は好調を維持する見通し。また、機工・計測システムも、付加価値の高い新製品開発と海外市場の開拓で黒字転換を目指す。
- ◆ 2024年度の連結業績は、売上高 20,000百万円、営業利益 1,100百万円、経常利益 1,050百万円、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円を見込む。

セグメント			見通し、計画												
駆動システム事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度実績</th> <th>24年度予想</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>6,711</td> <td>7,700</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>△91</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>営業利益率</td> <td>△1.4%</td> <td>3.1%</td> </tr> </tbody> </table>				23年度実績	24年度予想	売上高	6,711	7,700	営業利益	△91	240	営業利益率	△1.4%	3.1%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 主要ターゲットである半導体製造装置市場は、顧客の在庫消化が徐々に進みつつあり、2024年夏以降の需要回復を見込む。2025年にかけて更に需要が拡大する見込み。 ◆ 半導体市況に左右されない顧客基盤の構築を目指すとともに、顧客の要望に柔軟に対応できる自動化生産ラインの整備を進める計画。同時に、業績低迷が続くドイツ子会社の生産体制の再構築、生産性向上に取り組む。
	23年度実績	24年度予想													
売上高	6,711	7,700													
営業利益	△91	240													
営業利益率	△1.4%	3.1%													
金型システム事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度実績</th> <th>24年度予想</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>8,300</td> <td>8,400</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>765</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>営業利益率</td> <td>9.2%</td> <td>9.5%</td> </tr> </tbody> </table>				23年度実績	24年度予想	売上高	8,300	8,400	営業利益	765	800	営業利益率	9.2%	9.5%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ グローバルでEV市場は成長鈍化が見られる一方、HEVへの揺り戻しが見られ、全体的な電動車市場は今後も大きな成長が期待される。車載用モーターコア事業は電動車全体がターゲットであり、成長期待は大きい。 ◆ 主力の車載用モーターコア金型は、前期に引き続き好調な受注を維持する見込みである一方、L社の生産調整等によりモーターコア製品の売上高は一時的に伸び悩むことが予想される。 ◆ 前期、長野工場第8工場が竣工し、プレス生産設備の増設工事が完了。今後も車載用モーターコア金型の更なる増産体制構築のため、必要な設備投資を順次実施していく計画。
	23年度実績	24年度予想													
売上高	8,300	8,400													
営業利益	765	800													
営業利益率	9.2%	9.5%													
機工計測システム事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度実績</th> <th>24年度予想</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>3,527</td> <td>3,900</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>△54</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>営業利益率</td> <td>△1.5%</td> <td>1.5%</td> </tr> </tbody> </table>				23年度実績	24年度予想	売上高	3,527	3,900	営業利益	△54	60	営業利益率	△1.5%	1.5%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 工作機械、要素機器ともに需要は緩やかな回復が見込まれ、市場開拓と併せて、受注高および売上高は回復を見込む。 ◆ 付加価値の高い新製品開発に取り組むとともに、既存製品の販路拡大、特にアジアを中心とした海外市場の開拓に取り組むことで売上高を拡大し、低収益体質からの脱却を目指す。 ◆ 業績が悪化した自動車関連商品を手掛ける子会社の経営改善も優先課題。
	23年度実績	24年度予想													
売上高	3,527	3,900													
営業利益	△54	60													
営業利益率	△1.5%	1.5%													



- ◆ 当社の配当政策は、企業体質強化のための内部留保の充実を図りつつ、業績に裏付けられた安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。現行中期経営計画Vision2025の期間中は、配当性向25～35%の範囲内で、収益状況や経営環境を考慮し、都度適切な配当を実施していく所存です。
- ◆ 2024年度の年間配当金は、1株当たり38円00銭を予定しております。

長野工場新工場棟（第8工場）竣工



長野工場新工場棟竣工式

- ◆ 長野工場に新工場棟（第8工場）および倉庫棟が完成。2023年12月に竣工式を実施。
- ◆ 新工場棟にて電動車の駆動用・発電用モーターコアの量産設備およびモーターコアに磁石を挿入し樹脂固着する工程（MAGPREX®）の設備を導入。量産プロセス確立のためのマザー工場と位置づける。
- ◆ ここで確立したGlue FASTEC®およびMAGPREX®プロセスを、国内外の提携先を含めたモーターコア量産工場に展開し、グローバルな生産体制を拡充してゆく計画。
- ◆ 今後更なる長野工場での設備投資により、電気車駆動用モーターコア金型の生産能力は来年までに2023年対比で2.5倍とする予定。

IATF16949認証取得

- ◆ 2023年12月、当社金型事業部（長野工場）における「車載用モーターコアの製造」について、「IATF16949：自動車産業品質マネジメントシステム規格」の認証をIATF（International Automotive Task Force）より取得。
- ◆ IATF16949は自動車の製造領域に特化した品質マネジメントシステムであり、自動車の部品や材料を供給するサプライヤーを審査・登録する認証制度。
- ◆ 認証取得により、当社のモーターコア事業のグローバル展開を今後さらに加速してゆく計画。



IATF16949登録証

カーボンニュートラル達成に向けた取り組み



太陽光パネルを設置した長野工場

- ◆ 2050年までのカーボンニュートラル達成の実現に向け取り組んでおり、その一環として2020年にかずさアカデミア工場に、2023年に富津工場に太陽光パネルを設置し、発電を開始。
- ◆ 長野工場においても太陽光パネルを設置。24年4月から稼働を開始し、長野工場全体の消費電力の約9%を賄っている状況。ドイツの子会社であるJenaer Gewindetechnik GmbHにおいても太陽光パネルの設置が完了。
- ◆ 今後も地球温暖化対策に貢献するために、再生エネルギー利用拡大に向けた取り組みを着実に進める。

独立社外取締役の選任予定

- ◆ 6月27日（木）開催予定の第80期定時株主総会にて、水品朱美氏が社外取締役に選任される見通し。水品氏が選任されれば、当社にとって初めての女性取締役となる。
- ◆ 水品氏プロフィール：
米国ニューヨーク州、カリフォルニア州、ワシントンD.Cの弁護士資格を有しており、長年にわたり日本のメーカーおよび大手外資系企業において、法務、リスク管理、コンプライアンス等を担当。当社の経営に対する的確な助言と、実効性の高い監督を十分に果たしていただけると期待。
- ◆ 引き続き「ジェンダーバランスや多様性の確保」を考慮した人財の登用に取り組み、取締役会の更なる実効性の向上を目指す。

パートナーシップ構築宣言

- ◆ 内閣府、中小企業庁等が推進する「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、2024年5月30日付で「パートナーシップ構築宣言」を宣言。
- ◆ 「パートナーシップ構築宣言」とは、事業者がサプライチェーン全体の付加価値向上と、大企業と中小企業の共存共栄を目指し、「発注者」側の立場から「代表権のある者の名前」で宣言するもの。サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携、及び下請け企業との望ましい取引慣行の遵守について宣言し、宣言は中小企業庁のポータルサイトに掲載・公表される。
- ◆ 今後も当社はサプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進め、新たなパートナーシップを構築。

パートナーシップ構築宣言のロゴマーク



現在進行中の電動車プロジェクト (24年5月末時点)



第8工場が完成した長野工場



無錫隆盛新能源科技
EV用モーターコア新工場



- 当資料は、投資家の皆さまに黒田精工株式会社への理解を深めて頂く事を目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。
- 当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。
- 当資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠することなく、ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

黒田精工株式会社 経営企画室 IR担当

TEL : 044-555-3800

ホームページ : <https://www.kuroda-precision.co.jp>